

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

PEM+CDDP 療法(short hydration)

3 週毎 6 コース予定

疾患名 悪性胸膜中皮腫

主治医 _____ 指導医 _____ HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)

スケジュール

		day1
ペメトレキセド	500mg/m ²	↓
シスプラチン	75mg/m ²	↓

【注意】

- * 一日の尿量が 3000mL 以上になるように調整すること
- * シスプラチンは遮光のこと
- * 治療前日から翌々日まで通常の飲水に加えて、経口補水液 500mL を 1 日 2 本飲水すること
- * ペメトレキセド投与の 7 日以上前よりパンビタン末を 1g 分 1 で内服開始。^{注1}
- * ペメトレキセド投与の 7 日以上前より

メチコパール注 500 μg 2A(1mg)を筋注(以後 9 週間毎)。^{注2}

注 1: 投与中止または終了する場合には、最終投与日から 22 日目まで可能な限り投与する

注 2: 投与期間中及び投与中止後 22 日目まで 9 週ごと(3 コースごと)に 1 回投与する

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

Day 1

抗がん薬投与 1 時間半前にアプレピタントカプセル (125 mg) 1Cap を内服

- ① 生食 500mL で血管確保 維持 (20mL/時間)
- ② 生食 500mL + L-アスパラギン酸K 10mEq + 硫酸Mg補正液 4mEq
点滴静注 60 分 (500mL/時間)
- ③ 生食 100mL + グラニセトロン 3mg 1 筒 + デキサメタゾン 9.9mg (3 mL)
点滴静注 30 分 (200mL/時間)
◎ メインの生食でフラッシュ
- ④ ペメトレキセド + 生食 100mL 点滴静注 10 分 (600mL/時間)
◎ メインの生食でフラッシュ

PEM+CDDP 療法(short hydration)

⑤ 20%マンニトール 200mL 点滴静注 30分 (400mL/時間)

⑥ シスプラチン + 生食 300mL 点滴静注 120分 (240mL/時間)

*生食 200mL をバッグから前もって抜いておく

⑧ 生食 500mL + L-アスパラギン酸K 10mEq + 硫酸Mg補正液 4mEq
点滴静注 60分 (500mL/時間)

Day 2,3

アプレピタントカプセル (80 mg) 1Cap 1×朝 内服

Day 2 - 4

デキサメタゾン錠 8 mg 2×朝、昼 内服

	コース	コース	コース	コース	コース	コース
月日	/	/	/	/	/	/
ペムレキセド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
シスプラチン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認						